

大阪府森林組合通信

2008.10 Vol.15

8月1日 第7回大阪府森林組合通常総代会が開催されました。

新執行体制が決定しました。

第7回通常総代会において任期満了に伴い役員を改選しました。

併せて総代会終了後に理事会及び監事会を開催し、新しい執行体制を決定しましたので、お知らせいたします。

このたびの改選では5名の職員理事を任命し、日々、第一線で勤務する職員の意見を組合運営に生かしていきたいと考えています。

今後とも、組合運営に対してのご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお今回の役員改選で前組合長である中谷理事、南河理事、堂脇監事が、任期満了のため退任されました。また去る5月31日付けで竹中専務理事が一身上の都合により退任されました。

任期中は組合の運営にご尽力いただき、ありがとうございました。

●代表理事組合長

氏原 修(常勤)

●代表理事副組合長

大植 嘉郷(泉州支店担当・非常勤)

●代表理事副組合長

北河 哲(三島支店担当・非常勤)

●代表理事副組合長

奥野 壽一(南河内支店担当・非常勤)

●代表理事副組合長

西田 千萬造(豊能支店担当・非常勤)

●理事(非常勤)

■豊能地区

藤木 正男、中島 矯、川西 忠義^{※1}

■三島地区

小阪 登志雄、畑中 喜代司^{※2}、
山下 圭太郎

■南河内地区

寺田 信正、井関 醇一、井元 哲夫^{※1}

■泉州地区

田中 豊秋、齊喜 徳次^{※1}、大中 一美

※1は新任

※2は監事から理事への就任

●職員理事

■常務理事参事

山野 勝徳

■理事三島支店長

田中 一嘉

■理事南河内支店長

竹田 兼三

■理事野外活動センター所長

菅沼 肇

■理事木材総括部長

葛城 修平

●監 事

■代表監事

吉田 定雄(豊能・三島地区)

■監 事

南 敏治(南河内・泉州地区)

■監 事

杉本 隆(学識経験者・公認会計士)

議案は、
第1号議案
「平成19年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の承認について」
第2号議案
「平成20年度事業計画の設定につ

いて」
第3号議案
「木材共販所の継続運営について」
第4号議案
「平成20年度借入金の高限度額の決定について」
第5号議案
「平成20年度余裕金預け入れ先の決定について」
第6号議案
「定款および規約の変更について」
第7号議案
「役員の改選について」
第8号議案
「役員報酬の決定について」
第9号議案
「役員退任慰労金の支給について」

当組合は第7回通常総代会を8月1日午後1時30分より、大阪府農林会館講堂において大阪府の西山潤二森林課長、千早赤阪村の松本昌親村長をはじめ、多数のご来賓をお迎えし、総代数247名(定数250名のうち欠員3名)の出席を得て開催しました。



第10号議案
「大阪府における緑化森林環境税の導入要望活動について」
で、いずれも原案通り可決・承認をいただきました。

Contents

第7回大阪府森林組合通常総代会が開催	1
平成19年度決算報告	2
平成20年度事業計画	3
緑化・森林環境税の導入要望活動について	3
支店のトピックニュース	4
森林観光センターだより	5
“がんばっています”大阪府内産木材の住宅づくり	5

未来の燃料「バイオコークス」	6
今年の紅葉はここで決まり	6
毎年11月は「山に親しむ推進月間」です。	7
林政情報	7
レーザー加工木材の特別価格頒布	8
木材市況	8
日々活躍 組合職員紹介	8

平成19年度決算報告

貸借対照表（平成20年5月31日現在）

科 目	内 訳	小 計	合 計	科 目	内 訳	小 計	合 計
（資産の部）				（負債の部）			
流動資産				流動負債			
現金・預金		778,661,637		買掛金		2,577,983	
さきもり基金		504,000,000		未払金		193,874,530	
受取手形	73,395,888			預り金		14,080,000	
売掛金・未収金	220,681,847			前受金		14,125,547	
上記２項目の小計	294,077,735			その他		52,790,224	
貸倒引当金	△ 10,000,000	284,077,735		基金預り金	504,000,000		
たな卸資産		26,218,332		組合拠出金	△ 88,100,000	415,900,000	
その他		13,246,164	1,606,203,868	流動資産合計			693,348,284
流動資産合計				固定負債			
固定資産				農林漁業資金借入金		36,579,262	
有形固定資産	915,018,849			林構施設借入金		141,846,141	
減価償却累計額	△ 474,685,927	440,332,922		預り保証金		10,712,500	
無形固定資産		2,794,374		退職金給付引当金		233,128,815	
外部出資				役員退任慰労引当金		11,691,930	
系統出資金		35,720,000		その他引当金・積立金		402,213,931	
系統外出資金		18,182,760		固定負債合計			836,172,579
外部出資金合計		53,902,760		負債合計			1,529,520,863
その他の固定資産				（資本の部）			
農林業業資金貸付金		36,579,262		出資金		204,509,000	
その他		5,000,000		出資金合計			204,509,000
その他の固定資産		41,579,262		剰余金			
固定資産合計			538,609,318	準備金・積立金		286,273,935	
				当期末処分剰余金		124,509,388	
				剰余金合計			410,783,323
				資本合計			615,292,323
資産合計			2,144,813,186	負債・資本合計			2,144,813,186

1. 受取手形の割引高は 0 円である。
2. 受取手形の裏書譲渡高は 7,277,000 円である。

損益計算書（平成19年6月1日～平成20年5月31日）

科 目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1. 収益	2,449,326,329	
2. 費用	1,900,935,033	
事業総利益		548,391,296
II 事業管理費		
1. 人件費	301,557,685	
2. 旅費交通費	12,852,881	
3. 事務費	13,084,948	
4. 業務費	13,465,681	
5. 諸税負担金	29,798,143	
6. 施設費	107,786,681	
7. 雑費	717,111	
事業管理費計		479,263,130
事業利益		69,128,166
III 事業外損益		
1. 事業外収益	12,066,298	
2. 事業外費用	9,219,750	
事業外損益		2,846,548
経常利益		71,974,714
IV 特別損益		
1. 特別利益	21,323,942	
2. 特別損失	29,470,307	
特別損益		△ 8,146,365
V 利益剰余金		
税引前当期剰余金		63,828,349
法人税及び住民税		15,000,000
当期剰余金		48,828,349
前期繰越剰余金		75,681,039
当期末処分剰余金		124,509,388

部門別損益計算書

（単位：円）

部 門 別	費 用	収 益	損 益
指 導 部 門	5,540,168	3,680,241	△ 1,859,927
販 売 部 門	242,595,664	264,616,730	22,021,066
加 工 部 門	128,710,755	159,721,917	31,011,162
森林整備部門	1,524,088,446	2,021,307,441	497,218,995
合 計	1,900,935,033	2,449,326,329	548,391,296

平成19年度余剰金処分案

摘 要	積算内訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			124,509,388
II 剰余金処分額			
1. 法定準備金	当期剰余金の1/5以上	10,000,000	
2. 特別積立金		20,000,000	30,000,000
III 次期繰越剰余金			94,509,388

平成20年度事業計画

1 運営の基本方針

大阪府内の森林の健全育成と組合員の期待に応えることができる組織体制を目指し、事業ごとの総括本部を設置することで本部の目標を掲げた上で運営の効率化を図りながら、重点的に次の事項に取り組む。

1 豊能支店

- ・機械化林産事業
- ・チップの農業利用
- ・里山の再生事業

2 三島支店

- ・間伐推進及び機械化林産事業
- ・バイオマスの総合利用

- ・バイオコークスの研究及び取組方向の決定
- ・アドプトフォレスト事業の推進

3 南河内支店

- ・大阪河内材の利活用への推進
- ・機械化林産事業
- ・河内林業地の森林整備への推進

4 泉州支店

- ・機械化林産事業
- ・バイオマスタウン構想への参画

5 木材総合センター

- ・木材共販事業及びウッドベースかわちながのの改革

- ・機械化林産事業の推進

- ・バイオマス事業の推進

6 本店

- ・営業体制の強化
- ・地球温暖化対策関連事業の推進
- ・特殊伐採事業に向けた取り組み
- ・新たな木材利用推進に向けた取り組み



機械化林産事業への取り組み

2 指導部門

地区推進協議会及び関係機関の支援を仰ぎながら組合員のニーズと林業経営指導に努める。

- 1 機関紙「大阪しんりんくみあい通信」を年2回発行する。

- 2 地区林業推進協議会の運営を通じて地区活動の活性化を図る。

- 3 府・市の支援を得て地籍調査事業を推進する。

- 4 木材搬出効率化を目指した団地化に取り組み、集約化林業を推進する。

3 販売部門

木材生産から建築までをトータルに取り組み、認証材といった付加価値を高めて木材流通体制の確立を図る。

- 1 新たに設置した木材部で生産から利用までを一元コントロールし効率的な事業運営に努める。

- 2 環境にやさしい地元産木材をPRし、新築及びリフォーム事業の推進を図る。

4 加工部門

- 1 ウッドベースかわちながのは建築事業本部との連携や新商品の開発・販売し経営改善に努める。

- 2 高槻木材加工センターは公共事業向けの木材加工及び施工とともに新たな木材製品の開発に取り組む。

- 3 能勢木材加工センターは「O&Dウッド」の取り扱いを強化し新たな市場開拓に努める。

- 4 その他、各支店においても、その特徴を生かした木材加工事業に取り組む。



木材の多用途への利用を進める

5 森林整備部門

- 1 公共造林及び補助事業の推進とともに関係行政機関の森林整備受託事業の円滑な執行に努める。

- 2 森林リサイクル事業をはじめ地籍調査事業、指定管理者事業など各種利用事業の推進を図る。

- 3 優良苗木や林業用具などを取り扱う購買事業に関わる商品の販売活動を進める。

- 4 各種制度資金の紹介と斡旋に努め、金融事業の有効な活用を図る。

平成20年度損益計画書

1 部門別損益計画

(単位：千円)

部 門	費 用	収 益	損 益
指 導 部 門	9,134	3,100	△ 6,034
販 売 部 門	512,960	561,590	48,630
加 工 部 門	216,100	261,000	44,900
森林整備部門	1,174,339	1,564,137	389,798
合 計	1,912,533	2,389,827	477,294

2 事業総損益

(単位：千円)

I . 事業総利益	477,294
II . 事業管理費	463,872
III . 事業外損益	500
IV . 特別損益	0
V . 利益剰余金（税引前剰余金）	13,922

緑化・森林環境税の導入要望活動について

大阪府域の約30%を占める森林は、治山・治水や大気浄化、保健保養など多様な機能を発揮することにより、流域の住民の安全で安心な暮らしに大きな役割を果たしています。

しかし材価の低迷や林業労働力の減少と高齢化などにより林業経営意欲は大きく減退しており、今後も森林を放置することに伴う荒廃が懸念されます。ただし森林整備には多大な労力と金銭がかかり、これ以上の負担を森林所有者だけに強いるのは困難であり、また関係行政機関も財政的な問題から財源の確保が必要となっています。

そこで府民全体で健全な森林を

育成するための整備を支えること

が望ましい姿であり、当組合の組合員を中心とした森林所有者の総意として10,000人の署名活動を実施し、収集した署名をもって緑化・森林環境税の導入要望を大阪府に対して行うことが先の総代会で特別決議として承認されました。

つきましては署名活動の時期、方法などを理事会にて取り決め、地区の役員もしくは総代員、地区推進協議会が一致団結し、推進を図りたく考えておりますので、組合員の皆様におかれましては、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



三島支店

ペレットストーブ

三島支店で操業するペレット工場は6年目を経過し、最近では「環境にやさしいバイオマスエネルギー」の象徴的存在ともいわれ、新聞やテレビでしばしば取り上げられることもあり、需要は増加しています。

ペレット生産を増やすためには、燃焼機器の普及が不可欠で、その中でもストーブについては、世間の環境意識の高まりに呼応するように、日本製の新機種が開発されるようになってきました。様々なデザインとともに耐震装置やヤカンを置くスペースが設けられるなど、工夫を凝らした製品も発売されています。

森林組合で販売するストーブもバリエーションを増やし、顧客の希望に沿った製品の提案に努めています。



金子農機「ペレチカ」



日鋼設計「ペレトープ」



KOZI
ペレットストーブ

どのストーブも前面ガラスから炎の揺らぎが見え、視覚的な温かみを感じさせてくれます。サイズが大きいことや煙突が必要なこと、費用は本体価格だけで30万円以上かかることなど、簡単に買えるものではありませんが、資料送付・見積ともに無料で対応しますので、関心がありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

豊能支店

小径の皮むき材、買い取ります。

木材は環境にやさしい素材として様々な用途に用いられ、国や府、市町村の公共事業においても木材の使用範囲が広がってきました。

当組合では特に新たな製品や防腐加工技術などを積極的に行政機関アピールし大阪府内産木材の利用促進に努めています。

同時に府内産木材の確保にも努め、主に丸棒加工用原材料（スギ・ヒノキの間伐材）を持ち込んでいただいた場合、高価買取しています。

今後、更なる利用促進を目指し、近年、需要が高まっている「小径皮むき丸太」の買取制度を新設・推進することを考えています。

人力でも取り扱いが容易な直径10cm内外、長さ2m程度を想定しており、皮をむいてお持ち込みいただければ、量の多寡に関わらず



皮むき丸太持ち込み大歓迎です

高価にて買取を行います。
まずは支店までお問い合わせください。
豊能支店
072-734-0125

Topics

支店のトピックニュース

泉州支店

木材の地産地消を進めた施設がオープン

以前より泉州支店ではレーザー加工処理を施した木材加工に積極的に取り組んでおり、賞状やネームプレートといった木材に文字や図柄を記載するという新たな木材利用の分野を開拓してきました。

併せて、関係機関に対して提案型の営業活動を進めた結果、和泉市南部に平成20年7月20日開設された生涯学習の拠点「和泉市南部リージョンセンター」に地元産材の木製品が使用されるに至りました。

和泉市の特産品を扱うコーナーでは商品の陳列用に地元産材を用いた木製ラックが並び、木のやさしい風合いが特産品ともマッチしています。

また特筆すべきは施設サイン。入り口や図書館にはレーザー彫刻で作成された確認しやすい案内



地元産木材で製作したワゴン



レーザー加工で仕上げた
木製サイン

板、サイン等も来館者の目を惹いています。

泉州支店では、地元の木を地元で使う「地産地消」を今まで以上に進める事で、地域の環境にも貢献したいと考えています。

南河内支店

産学官協同「おおさか河内材活用研究会」発足

今年の3月に「おおさか河内材」に関する府民の理解を深め木材生産地「河内林業地」における、森林環境保全及び木材利用の普及啓発を目的として「おおさか河内材活用研究会（構成メンバー…大阪芸術大学、大阪府森林組合南河内支店・おおさか河内材利用促進ネットワーク協議会・大阪木材工業団地協同組合、大阪府南河内農と緑の総合事務所）」が発足しました。

まずは研究会の皆さんに「おおさか河内材」と「河内林業地」を知ってもらうために、6月27日・28日の2日間で木材工業団地やウッドベースかわちながの、河内長野市内の森林をフィールドに現地視察を行い、河内長野市森林ボランティア「トモロス」のメンバーの協力のもと、参加者65名で間伐・



芸大生が多数
参加した森林
体験

皮むき体験を行いました。

参加者の多くが同大学の学生で、説明者の話を熱心に聞き、また間伐体験では不慣れな山林内での行動に苦労している姿も見られましたが、皆さん無事に間伐材の見本を持ち帰られました。

今後、同大学では学部別に授業で「河内材」の利活用について新たなアイデアを出していただけることですので、この研究会から「河内材」のヒット商品が生まれてくることを願っています。

森林観光センターだより

お問い合わせ

072(688)9400

毎年恒例の夏祭りは天候にも恵まれ、初めての試みとして浴衣やアロハを着たスタッフがお客様をお出迎え。とても好評でした。

子供の歓声がこだまする観光センターでも一番にぎやかな季節は今年も過ぎ、山や里の恵みをゆつくり、ゆったり感じていただく、実りの秋。新米のおいしい季節を迎えました。

森林観光センターでは、この秋の実りを十分に堪能していただくメニューを設定しました。

梶の郷荘では季節限定メニューとして、10月末迄「秋ご膳」11月～12月中旬まで「暮胡膳」（共に入浴＋送迎セット¥3,500要予約）をご用意しております。

「秋御膳」は「季節野菜のホイール焼き」や「レンコンと秋鮭の揚げ」「長芋のキノコあんかけ」など秋の味覚をふんだんに取り入れたメニューとなっています。

また「ささゆりの里」では、定番の地場産野菜と国産牛、亀岡地鶏の炭焼きを、もちろんお米は高槻産、ひのひかりで、炊きたて

ご飯を存分に食していただくメニューをご用意し、皆様のお越しをお待ちしております。

なおセンターでは常に美味しいものを提供させていただくとともに食の安全をモットーに取り組んでおり、お客様に安心して召

し上がりいただく食材を使用しております。

のほんとした自然豊かな地だからこそ「人と人とのふれ愛」を大切に「郷愁あふれる梶田に越しくださいませ。



秋の人気メニュー「秋御膳」



交通のご案内

【公共交通機関でのご来場】

JR高槻駅北口より高槻市営バス2番乗場
系統番号60～63番
「梶田方面」行き乗車森林センター前下車すぐ

【お車でのご来場】

国道171号線「今城町」交差点を北へ（府道6号枚方亀岡線）約30分

がんばっています

大阪府内産木材の住宅づくり

0120-6300054
http://www.sinrin.org

森林組合の建築事業は本年5月の組織改変で新たに大阪府森林組合建築総括本部として位置づけされ、今後は府内全域を営業エリアとするため、各支店に相談窓口を設置するなど事業拡張に向けた取り組みを進めています。

「おおさかスローウッド」の応援団 協力企業・店舗求む！

建築事業は新年度に入り、大阪市内での新築をご契約いただいた3世代住宅のO様邸が竣工、その他、リフォーム物件などのご注文をいただいております。

ご注文いただいたお客様が完成時に見せる喜びの笑顔を糧として、今後も事業推進に努めたいと考えています。

森林組合が取り扱う府内産木材「おおさかスローウッド」

森林組合が取り扱う府内産木材のブランド名称を「おおさかスローウッド」と命名しました。

この名称は木材に関わる様々なご研究に取り組まれ、当組合にも幅広いアドバ



イスをいただいている京都大学大学院農学研究科 高部教授に命名していただきました。

スローウッドとは「時間をかけてじっくり育て」「葉枯らしで時間をかけて乾燥」「運搬など環境負荷が少ない」というところからの発案で、木目をイメージした親

しみやすい「うずまき」のロゴマークも設定されました。

今まで親しまれていた「おおさか河内材」とともに組合のブランドとしてPRを進めます。

「おおさかスローウッド」の家の宣伝していただける、企業・お店を大募集します。

1. 「スローウッド」広告チラシを企業内もしくは顧客への配布。

2. 広告看板の設置 など

協力の御礼として、企業・お店の広告チラシを「大阪しんりんくみあい通信」に同封させていただきます。

今回は今までに協力いただいた、企業・お店を紹介させていただきます。

ご紹介いただける企業・お店の方は建築総括本部までご連絡ください。

組合員様によるご紹介キャンペーン継続決定

先般より本紙でもご紹介している組合員の皆様を対象とした住宅紹介キャンペーンを好評につき、継続させていただくことに決定しました。

システムは従前どおりの内容で、組合員様ご本人の住宅計画も

■ 協力企業・店舗 一覧（あいうえお順）

企業・お店名	業 種	住 所	TEL
(株) ABC コーポレーション	自動車ディーラー	富田林市久野喜台 2 丁目 19-5	0721-28-3040
(株) いずみ・ファーマーズ「葉菜の森」	農林産物直売所	和泉市大野町 973-3	0725-99-3333
(有) STY オート	自動車整備・販売	堺市東区日置荘田中町 208-6	072-287-7215
(株) エースタッフ保険事務所	保険代理店	富田林市小金台 2-2-5	0120-012-613 0721-29-7099
(財) 河内長野市勤労市民互助会		河内長野市昭栄町 7 番 1 号 河内長野市市民交流センター内	0721-54-0010
四条畷市商店街 ふれあいスペース「MAI-DO!」		四条畷駅前商店街内	—
学校法人 清教学園	教育機関	河内長野市末広町 623	0721-62-6828
廣ヤ	飲食・ギャラリー	河内長野市西之山町 4-17	0721-55-6211
そぶら貝塚 ほの字の里	レクリエーション施設	貝塚市舊原 2114	072-478-8777
村上写真館	写真館	河内長野市錦町 1-22	0721-54-5695

コークスとは石炭を乾留（蒸し焼き）したもので、硫黄やコールタール、ピッチを取り除き、より高い発熱量と高温を得ることができ、そのため、蒸気機関車の燃料として、現在では発電や鉄鋼業、鋳物製造には欠かすことのできない燃料となっています。我々の生活に直接、馴染みはないものの電気や鉄といった生活必需品を産み出す燃料としてなくてはならない存在でもあります。

そのコークスですが元を正せば化石燃料であり、燃焼に伴い太古に固定された二酸化炭素を大気中に排出し地球温暖化に影響を及ぼすこと、また諸外国による需要の高まりから高値で推移していることが、昨今、問題とされています。このような環境問題と燃料問題を解決すべく、近畿大学の井田准

未来の燃料 「バイオコークス」

教授が植物由来の原料を用い、圧力と温度を一定時間、加えることでコークスの代替品を開発することに成功。「バイオコークス」と名づけ、現在、量産に向けた実証試験を行っています。

当初は食物残渣を原材料としていましたが、いずれも量が限られることから井田准教授は豊富な資源を有する森林バイオマス、その中でも特に間伐材に着目。

当組合より提供したヒノキ間伐材のチップを用いて試作したところ、まだ製造過程での試行は必要などの良質なバイオコークスの製造が可能であると、実証されました。

しかも、このバイオコークスは①心材よりも樹皮や枝葉部といった林地残材が原材料として適していること

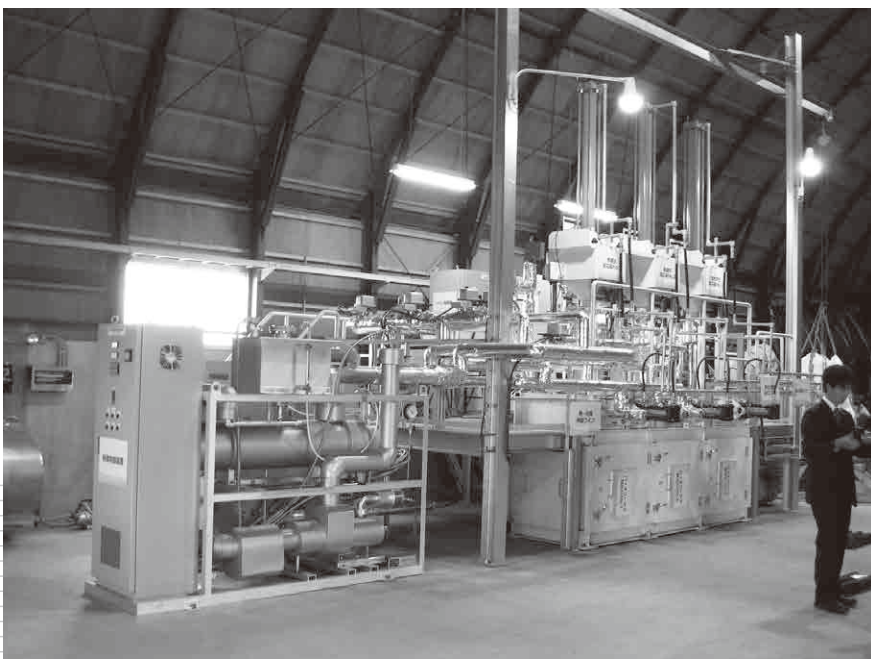
②製造時の投入エネルギーが極めて少ないこと

③木材の真比重1.4に限りなく漸近し運搬などに有利なこと

④100の原材料から100のバイオコークスが製造できること

⑤高付加価値の製品となること（鋳物用コークス価格100,000円/トン）

以上のような理由から当組合としても新たな間伐材の有効利用方策のひとつとして、今後の動向を注目しています。



今年の紅葉はここで決まり 枚岡公園と大阪府立総合青少年野外活動センター

間もなく紅葉が美しい季節ですが、今年は気分を変えて当組合が管理運営する「枚岡公園」「大阪府立総合青少年野外活動センター」を訪れてみてはいかがでしょうか。

枚岡公園は生駒山西麓に広がる自然豊かな公園で、ハイキングや散策など楽しみ方もさまざま。また秋季は1ヶ月に1回、「みんなで創造（つく）ろう！ 木のおもちゃ」と題したイベントも開催。ご家族連れで楽しめる公園です。さて肝心の紅葉は11月中旬から12月上旬にかけてが見頃の時期（昨年の実績）。暗溪にかかる豊浦橋付近が美しい紅葉のスポットと

して人気があります。

また大阪府立総合青少年野外活動センターは府内の野外活動センターとしてはバイオニア的存在で、剣尾山（けんびさん：783.7m）を主峰とする連山に囲まれた麓、約60万坪（甲子園球場50個分）の広大な敷地を有しています。カヌーや天体観測など、さまざまなプログラムを楽しむだけでなく、キャンプや野外炊飯などが体験できます。秋には様々なキノコ類も顔を出し、観察するだけでも楽しそう。さて紅葉は11月中旬ごろがおススメ。山全体が赤く燃えるように紅葉する様は一見の価値あります。

なお紅葉の見頃は気温や天候により毎年、時期がずれますので、ご来場の際には事前にお電話で状況をお確かめください。



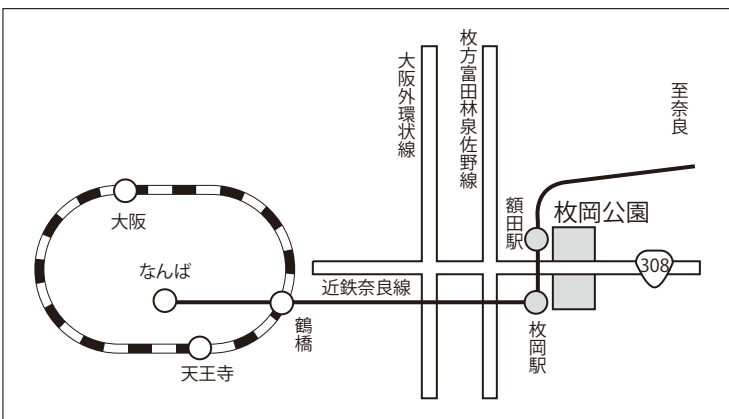
■ 枚岡公園アクセス

（大阪から電車で）

- ・近鉄奈良線「枚岡」もしくは「額田」駅下車、徒歩15分

（大阪からお車で）

- ・国道170号線「新町」交差点を枚岡方面へ（駐車場は台数が限られますので、できるだけ公共交通機関でお越しください）



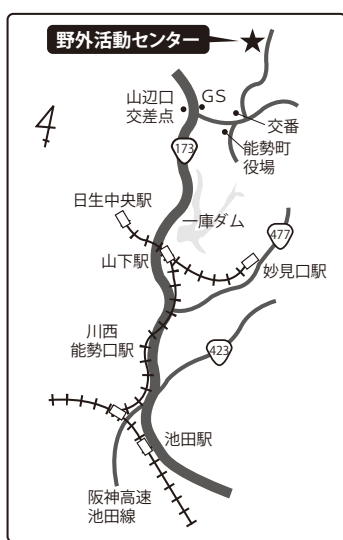
■ 野外活動センターアクセス

（大阪から電車で）

- ・阪急宝塚線「川西能勢口」駅乗換え 能勢電鉄「山下」駅下車 能勢町宿野行きのバスに乗り換え終点で下車、徒歩40分 センター送迎車あり（要予約）

（大阪からお車で）

- ・阪神高速池田線から国道173号線を北上 山辺交差点を右折、一つ目の信号を越え、すぐのT字交差点を左折



毎年11月は「山に親しむ推進月間」です。



大阪府では、地球温暖化防止など森林の持つ様々な機能を府民に理解してもらい、森林とふれあう機会を増やすため、毎年11月を「山に親しむ推進月間」、11月第2土曜日を「おおさか『山の日』」として定め、関係団体の幅広い協力により、森林を“知る・利用する・守る”イベントを府内各地で開催します。

下記に挙げたイベント一覧は11月8日に開催されるもので、推進月間中は府内各地域でさまざまなイベントが催されます。

紅葉が美しいこの季節、おおさかの山を楽しみりフレッシュしてみませんか？

詳しくは <http://www.pref.osaka.jp/midori/yamanohi/index.html> をご覧ください。

行事名	行事内容	集合場所	集合時間	問合せ先
おおさか「山の日」 in能勢地黄	“史跡探訪、里山保全活動”	能勢町地黄南集会所	午前10時15分	NPO日本森林ボランティア協会 06-6976-8255
山地美化キャンペーン	物品配布による啓発活動	能勢電鉄「妙見口駅」前	午前8時～午前10時	豊能町農林商工課 072-739-3424
箕面山地美化キャンペーン	クリーンハイキング	阪急箕面駅前	午前9時	箕面市都市環境部公園みどり課 072-723-2121（内3420）
歌垣の森保全活動	“保全活動、ササ刈り”	能勢電鉄「妙見口駅」前	午前10時	大阪みどりのトラスト協会 06-6949-5705
里山の保全と活用 一日体験	“樹木調査、間伐、ハイキング等”	豊能町有林	午前8時30分	豊能町コスピクラブ 072-738-2753
生駒の山をサクラで飾ろう！	“ハイキング、ヤマザクラの植樹”	枚岡神社	午前8時	大阪府中部農と緑の総合事務所 地域政策室 072-994-1515（内383）
ファミリークラフト	“クラフト製作、芋掘り”	四条畷市立野外活動センター	午前10時	四条畷市立野外活動センター 072-877-0778
山地美化キャンペーン クリーンハイキング	生駒山ハイキングコース沿いの ゴミ拾い	近鉄「石切」駅	午前9時30分	東大阪市みどり対策課 06-4309-3227
第5次山地美化作戦	不法投棄物の一斉撤去回収作戦	飯盛山頂NHKFM塔	午前9時	生駒敏勝氏 072-873-0721
里山づくり	竹の伐採と竹炭焼き	森集会所	午前9時	向井壽一氏 072-891-6886
おおさか「山の日」 芋煮会	ハイキングと芋煮会	京阪「私市」駅	午前9時30分	中尾清治氏 06-6623-7868 神先務氏 0727-38-0571
山地美化キャンペーン	山地美化啓発活動	南海「河内長野市」駅	午前9時	河内長野市環境保全課 0721-53-1111（内443）
おおさか「山の日」 in二上山	“クリーンハイキング、抽選会”	二上山万葉の森駐車場	午前10時	太子町建設農林課 0721-98-5523
おおさか「山の日」 いずみの森100本苗木植樹祭	“里山保全、クラフト体験、 自然観察会”	JR日根野駅前	午前10時	大阪いずみ市民生活協同組合 072-232-3095
おおさか「山の日」 クリーンハイキング	清掃ハイキング	阪南市波太神社前	午前9時30分	阪南市農林水産部 072-471-5678

なおイベントによっては費用や持ち物、参加人数など参加にかかわる要件が定められているものもありますので、必ず問合せしてからご参加ください。

林政情報

2008/07/02(水) 昨年の木材自給率は22.6%、 3年連続の上昇

昨年（平成19年）の木材（用材）自給率が対前年比2.3ポイントアップの22.6％に上昇した（林野庁が6月30日に発表）。これで、17年以降3年連続の上昇。国産材の供給量が5.8％増加したのに対し、外材の輸入量が7.9％の減少となったため。ただし、木材総需要量は、5.1％減の8,237万m3に止まった。

2008/08/12(火)
「ムク材は4VOCゼロ」を確認、
証明・表示研究会が報告書
トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼンの4VOCの取り扱い等を検討していた「木質建材からのVOC証明・表示研究会」（委員長＝富田文一郎・筑波大学名誉教授、事務局＝

（財）日本住宅・木材技術センター）は8月1日に報告書を公表。木材（ムク材）については、4VOCを全く含んでいないことなどが確認された。木質建材等に含まれているVOC（揮発性有機化合物）は、シックハウス症候群等の原因物質とされており、「建材からのVOC放散速度基準化研究会」（委員長＝村上周三・慶應義塾大学教授、事務局＝（財）建材試験センター）が今年4月1日に4VOCに関する放散速度基準値を制定。これを受けて、同研究会が木質建材と4VOCの関係を科学的に明らかにした。

2008/08/29(金)
来年度林野予算要求は15.7%増の4,622億円、
国有林は8.1%増の4,861億円
林野庁の来年度（平成21年度）予算要求がまとまり、8月29日に財務省に提出された。林野庁一般会計予算の要求額は4,459億5,500万円で、

対前年度予算比15.1％の増。メインテーマは、「低炭素社会に向けた森林資源の整備・活用と林業・山村の再生」とし、森林吸収源対策の推進や山村再生支援センターの創設などを盛り込んだ。また、国有林野事業の来年度予算要求額は、歳入・歳出とも対前年度比8.1％増の4,861億5,400万円。

2008/09/22(月) 林野庁長官に内藤氏

太田誠一農林水産大臣及び白須敏朗事務次官の辞任に伴い、後任の事務次官に井出道雄林野庁長官が起用された。後任の林野庁長官には内藤邦男生産局長、生産局長には竹谷広之農林水産技術会議事務局長、竹谷氏の後任には佐々木昭博官房審議官兼生産局がそれぞれ就任した。

レーザー加工木材の特別価格頒布

以前より当組合泉州支店の取り組みとして文字や写真を木材にレーザー加工処理する技術に取り組んでいることをお伝えしておりましたが、このたび加工処理会社とタイアップし、組合員様向け限定の商品をご提供させていただく運びとなりました。

ケヤキ・ヒノキといった木材からガラスや石版、アクリルなど、加工できる素材も多種にわたっております。

ご自身でお使いいただいても、また贈り物としても喜ばれるものと自信をもってお奨めします。

その他、石版（幅 200mm 高さ 200mm 厚み 20mm）を 8,500 円（通常 15,000 円）、ガラス表札（幅 180mm 高さ 180mm 厚み 10mm）18,000 円（通常 20,000 円）、アクリル盾（幅 200mm 高さ 200mm 厚み 3mm）を 4,000 円（通常 5,000 円）で承ります。

詳しくは泉州支店（0725-58-2025）までお問合せください。

企画協力：custom design AIR

		寸法（単位はmm）	材質	特別価格
表札		幅 210	ケヤキ	4,500 円（通常 5,500 円）
		高さ 90	ヒノキ	4,000 円（通常 5,000 円）
		厚み 30		
		幅 200	ケヤキ	8,500 円（通常 10,000 円）
時計		高さ 200	ヒノキ	6,500 円（通常 8,500 円）
		厚み 30		
		幅 250	ケヤキ	15,000 円（通常 18,000 円）
		高さ 250	ヒノキ	12,000 円（通常 15,000 円）
		厚み 30		
盾		幅 450	ケヤキ	10,000 円（通常 17,000 円）
		高さ 250	ヒノキ	7,000 円（通常 13,800 円）
		厚み 30		

※木材は当組合で選定させていただきます。

木材市況

木材共販所の原木価格のうち、ヒノキ役物優良材について、新築住宅需要の低迷が木材価格にも影響を及ぼしているものと思われ、価格の上昇材料が乏しい状況となっています。一方、合板用材として需要が高まっているヒノキ及びスギ並材は低値安定の状態が続いています。

当組合では9月26日に秋季特別市を開催したところ、ヒノキの大径木を集荷することができ、末口60cm、5m材が330,000円/㎡、末口42cm、7m材が300,000円/㎡と高値で落札されました。この結果、今回の市ではヒノキ材の平均単価が30,000円/㎡を越えるなど、盛況な取り引きが行われました。

今後も少しでも木材取引に関して明るい話題を提供できるよう努力してまいりますので出材及び販売への、ご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

■平成20年6月～9月期販売実績と平均単価

樹種	取扱量(㎡)	平均単価(円)
スギ	285.068	9,277
ヒノキ	1,370.677	23,692
広葉樹	4.178	12,412

日々活躍 組合職員紹介

今回の職員紹介は、泉州支店長の土井秀紀さんを紹介します。

土井支店長は平成6年に旧河内長野市森林組合に入組以来、主に森林整備の現場を担当し、現場の作業から管理までを担ってきました。

合併後は南河内支店の竹田支店長の右腕として、地域に広がる河内林業地内の森林整備だけでなく後進の育成などにも大きな役割を果たしてきました。

平成20年5月からは葛城前支店長の異動に伴い、泉州支店長に抜擢。

南河内支店は大きな損失ですが、育

成してきた若手が土井支店長の抜けた穴を必死でカバーしています。

人当たりがよく、笑顔を絶やさない土井支店長であれば新天地である泉州地域の森林整備にも大きな役割を果たすことと期待されています。

組合に入る前は車関係の仕事に携わっていただけに、かなりのカーマニア。通勤に使っているマイカーもカスタマイズされ、お気に入りの車に仕上がっています。



土井秀紀さん

2008 丸大の冬ギフト

ご贈答には、丸大のハム・ソーセージの詰め合わせをどうぞ。

お問い合わせ先

丸大食品（株）関西特販営業課
大阪市西成区津守2-1-10 TEL06-6657-0071

おいしさ新鮮

丸大食品